

1. 土地利用計画
2. 「人」豊かで温かな心を育む郷づくり
3. 「緑」自然と人が共生する郷づくり
4. 「快」安全で快適なうるおいのある郷づくり
5. 「支」皆で支え 安心して暮らせる郷づくり
6. 「創」交流し創造する 活力ある郷づくり

## 第二部

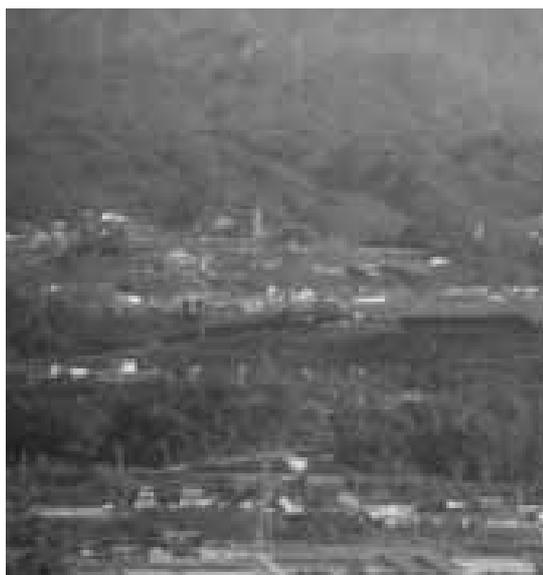
## 基本計画





# 基本計画 第1章

## 土地利用計画



第1節 土地利用計画

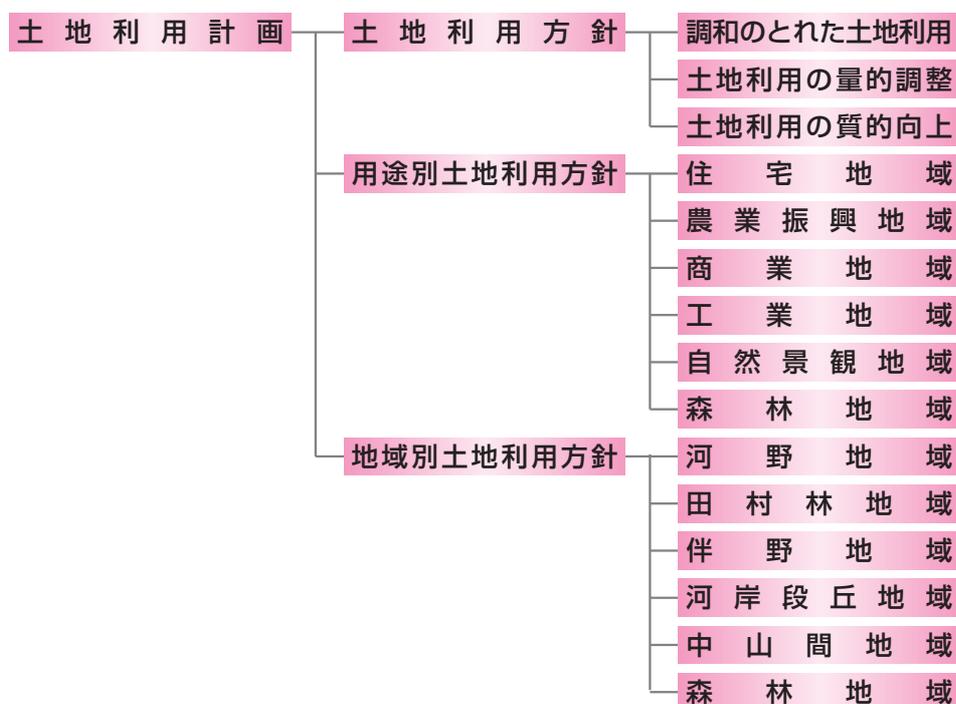
## 第1節 土地利用計画

### 1 土地利用計画

#### 現状と課題

- 本村は、総面積の80%が山林であり、天竜川沿岸地帯及び河岸段丘に平坦地があるほかは起伏の多い山間の傾斜地です。このため、村政発展のためには少ない平坦地と広大な森林の有効利用が不可欠であり、計画的かつ合理的な土地利用が課題となります。また、用途別・地域別の実態を把握し、安全性、生産性、快適性、健康性などの質的な向上を図る必要があります。
- 土地は単なる資産的な保有の対象としてではなく利用の対象としてとらえ、主たる機能を逸脱しない範囲において、より多面的な利用を図ることが重要です。

#### 施策の体系



## 施策の展開

### (1) 土地利用方針

#### ①調和のとれた土地利用

土地利用計画に基づいた、秩序ある土地利用を推進し、調和のとれた地域づくりを図ります。

#### ②土地利用の量的調整

都市的利用の計画にあたっては、土地の高度利用を促進しつつ、地域特性と地域バランス、需要動向などを考慮しながら、良好な住環境の整備、商・工業地の形成に努め、さらに適正な土地利用への誘導・規制を図ります。

自然的土地利用については、農林業の生産活動及び自然と共生する生活空間の創出、農村集落機能の維持・活性化のため、適正な開発と保全との調整を図ります。また、遊休荒廃農地などの低・未利用地の有効利用を促進します。

なお、土地の利用区分相互の転換にあたっては、復元することの困難性等を考慮して、計画的かつ慎重に対応します。

#### ③土地利用の質的向上

災害に強い安全で快適な村土づくりのため、総合的な治山・治水・砂防対策を進めるとともに、森林や農用地が持つ村土保全・水源かん養等の公益的・多面的機能の向上に努めます。

また、自然との共生、歴史的風土の保全、公害の防止に努め、住宅地域においては、土地の有効利用、自然環境の保全と活用により、ゆとりとうるおいのある空間の形成を目指します。

### (2) 用途別土地利用方針

#### ①住宅地域

地域の状況に応じたきめ細かい整備により利便性の向上を図るとともに、豊かな自然を活かした良好な景観の形成により、うるおいと定住魅力あふれる住居環境を整備します。

また、人口構想の実現やゆとりある住宅環境を求める動向に対応するため、住宅地域の拡大を計画的に図ります。住宅地域の拡大にあたっては、秩序ある開発を推進し、産業との調和を図ります。

#### ②農業振興地域

農産物の生産性向上と農業経営の安定化を図るとともに、農業従事者の高齢化・減少へ対応するため、適正規模の農地の確保と集団化による効率的な利用を図ります。また、土地利用の混在を防ぎ、秩序ある土地利用を図ります。

増大する遊休荒廃農地については農地流動化を促進し、利用促進と高度利用を図り、新たな耕作放棄地の発生防止に努めます。また、環境にやさしい農業や観光農業などの個性ある農業・農村を創出する基盤として有効利用を図ります。

農地は美しい景観や豊かな自然環境を形成するとともに、村土保全等公益的、多面的機能を有していることから適正な管理に努めます。

### ③商業地域

大型店の進出や消費者ニーズの多様化など変化する社会情勢に対応した商業の振興を図るとともに、消費者が快適に買い物ができ、地域の交流の場となる、役場を中心とした風格と魅力ある街づくりを進めるため、環境整備を支援し活気ある商業地域の形成を促進します。

### ④工業地域

村民の所得の向上と雇用機会の拡大を図るため、社会情勢や企業進出の動向を的確に把握し、需要に応じた必要な用地確保に努め、優良企業の誘致を図ります。また、用地の選定にあたっては、地域社会と自然環境との調和に配慮します。

### ⑤自然景観地域

「緑豊かな里山と美しい清流」この豊かな自然・景観の保全に努めるとともに、村民をはじめ多くの人々が自然とふれあえる場を創出し、豊かな自然の恵みが享受できる環境づくりをめざします。また、自然を生かした観光・レクリエーションなどの振興を図ります。

松くい虫被害が深刻な広域農道沿線の里山については、樹種転換等の整備を推進し、緑の再生を図ります。

### ⑥森林地域

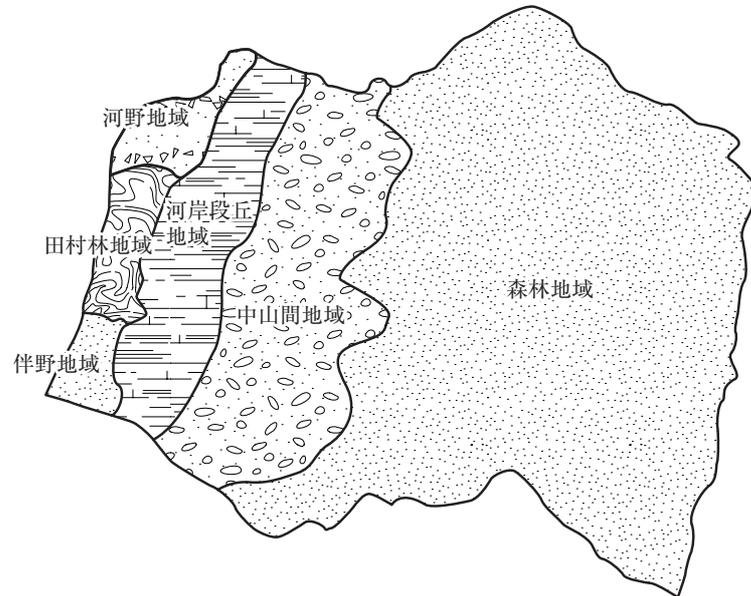
木材や茸の生産など経済的機能と村土保全や水源かん養など公益的、多面的機能を十分に発揮できるよう、必要な森林の保全と整備を図ります。また、松くい虫被害の拡大を防ぐため、防除・予防事業を図り、森林の保全に努めます。

#### ■農地流動化

農地の売買、賃貸借、経営の受委託などによって、専門的な農家に農地の所有あるいは利用権などを集積し、農業経営規模の拡大と生産性の向上を図ること。

### (3) 地域別土地利用方針

自然的、社会的条件等を考慮して、本村を次に掲げる6地域に区分して、それぞれ土地利用方針を定めます。



#### ①河野地域

この地域は、主要地方道伊那生田飯田線に沿った住宅地と、集団化による農業振興が図られている、天竜川沿岸の肥沃な水田・果樹地帯からなっています。

現在、幹線道路竜東一貫道路の建設や国道153号線と連絡する天竜川架橋実現を積極的に推進しており、今後、広域的な交通の利便性を生かした、都市的土地利用の需要が想定されます。

また、田村林や伴野地域に比べ人口が大きく減少しており、住宅用地の確保などの人口増対策が求められています。

このことから、農業基盤整備が充実した優良農地の保全と調和を図りながら、河野新田地域へ住宅地域の拡大を図ります。また、県営工業団地構想については、河野北新田西側を工業用地とし、その誘致を推進します。

#### ②田村林地域

村の中心的地域であり、住宅・商業地域として土地利用が図られています。また、役場庁舎をはじめ多くの公共施設が設置されています。

役場庁舎を中心とした風格ある街づくりが進められており、中心部にふさわしい魅力ある商業地や良好な住環境の形成に努めるとともに、文化・学習活動などを通じた村民の交流の場としての機能を高めます。

また、幹線道路竜東一貫道路の開通により、住宅用地・商業用地の需要の増加が想定されており、優良農地の保全と調和を図りながら、田村新田や林新田地域などに住宅地域の拡大を図ります。

### ③伴野地域

当地域は、主要地方道 伊那生田飯田線に沿った住宅地と新田地帯からなり、新田地帯は幹線道路竜東一貫道路を中心に工業地・農業地・宅地と集団化されています。

飯田市に近く、利便性の良さから、急速に宅地化が進んでおり、優良農地の保全と調和を図りながら住宅地域の拡大を図るとともに、上下水道・道路などの生活基盤の整備や拡充を計画的に進め、これに対応します。

### ④河岸段丘地域

当地域は全国でも有数の河岸段丘上にあり、農業生産基盤が整備された果樹地帯となっています。また、住宅地域は集落化し各地に分布しており、住環境の整備が進められてきました。

今後とも、優良農地を保全し農業振興を図るとともに、住宅地域系の土地利用を進め、住環境の利便性の向上を図ります。

また、伊那山脈を源流とする美しい清流と緑豊かな里山について、自然景観地域系の土地利用を図り、保全と活用を行います。

### ⑤中山間地域

小集落が点在する山間地ですが、農地造成による、りんご・梅・柿等の栽培が盛んです。また、地域住民の運営による松茸観光・りんごの木のオーナー制度など特色ある地域振興、観光交流が行われています。

この農業振興や観光振興の機能を高めるとともに、人口の減少・高齢化に対応するため、住宅地域・農業振興地域系の土地利用を図り、利便性の向上を図ります。

また、伊那山脈を源流とする美しい清流と緑豊かな里山について、自然景観地域系の土地利用を図り、保全と活用を行います。

### ⑥森林地域

当地域は村土の80%を占め、伊那山脈から西へ面した国有林・村有林・民有林が混在する地帯です。木材や茸の生産など経済的機能と村土保全や水源かん養など公益的・多面的機能を十分に発揮できるよう、必要な森林の保全と整備を図ります。また、松くい虫被害の拡大を防ぐため、防除・予防事業を図り、森林の保全に努めます。

# 豊丘村土地利用計画図

凡例

	農業用地域
	工業用地域
	商業用地域
	住宅地域
	自然景観地域

